

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー									
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8		
基本科目 <演習科目>	フレッシュマンセミナー	初年次教育として「読解」「記述」「伝える」など基本的リテラシーの修得、およびプレゼンテーション能力や他者との協働などコミュニケーションスキルの修得を目指す。	授業への取り組み姿勢・プレゼンテーション発表や提出課題を評価	○		○				◎			
基本科目 <演習科目>	ソフォモアセミナー	初年次教育の内容を踏まえ、引き続きコミュニケーション能力（読む・書く・伝える）の涵養、情報収集・分析能力の向上、および各教員の専門性に基づいた各分野の課題発見、解決に必要な基礎知識の修得を目指す。	授業への取り組み姿勢・プレゼンテーション発表や提出課題を評価	○		○				◎			
基本科目 <演習科目>	政策ゼミナールⅠ	各教員の専門分野に基づいた、研究課題の探求。先行研究や文献調査、課題解決に必要な手法の修得、およびそれらを他者に提示する能力の開発を目指す。	授業への取り組み姿勢・プレゼンテーション発表や提出課題を評価	○			○	○		◎			○
基本科目 <演習科目>	政策ゼミナールⅡ	各教員の専門分野に基づいた、研究課題の探求。先行研究や文献調査、課題解決に必要な手法の修得、およびそれらを他者に提示する能力の開発を目指す。	授業への取り組み姿勢・プレゼンテーション発表や提出課題を評価	○			○	○		◎			○
基本科目 <演習科目>	Freshman Seminar	初年次教育として「読解」「記述」「伝える」など基本的リテラシーの修得、およびプレゼンテーション能力や他者との協働などコミュニケーションスキルの修得を目指す。	授業への取り組み姿勢・プレゼンテーション発表や提出課題を評価	○		○				◎			
基本科目 <演習科目>	Sophomore Seminar	初年次教育の内容を踏まえ、引き続きコミュニケーション能力（読む・書く・伝える）の涵養、情報収集・分析能力の向上、および各教員の専門性に基づいた各分野の課題発見、解決に必要な基礎知識の修得を目指す。	授業への取り組み姿勢・プレゼンテーション発表や提出課題を評価	○		○				◎			
基本科目 <演習科目>	Research Seminar Ⅰ	各教員の専門分野に基づいた、研究課題の探求。先行研究や文献調査、課題解決に必要な手法の修得、およびそれらを他者に提示する能力の開発を目指す。	授業への取り組み姿勢・プレゼンテーション発表や提出課題を評価	○			○	○		◎			○
基本科目 <演習科目>	Research Seminar Ⅱ	各教員の専門分野に基づいた、研究課題の探求。先行研究や文献調査、課題解決に必要な手法の修得、およびそれらを他者に提示する能力の開発を目指す。	授業への取り組み姿勢・プレゼンテーション発表や提出課題を評価	○			○	○		◎			○

◎: 最もよく身に付けることができる能力
 ○: よく身に付けることができる能力
 △: 身に付けることができる能力

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー									
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8		
基本科目 <外国語科目> 留学生対象科目	日本語 I B	留学生在大学の授業に不自由なく参加できる程度の日本語能力を身につけることを目的とします	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎								○
基本科目 <外国語科目> 留学生対象科目	日本語 I C	留学生在大学の授業に不自由なく参加できる程度の日本語能力を身につけることを目的とします	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎								○
基本科目 <外国語科目> 留学生対象科目	日本語 I D	留学生在大学の授業に不自由なく参加できる程度の日本語能力を身につけることを目的とします	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎								○
基本科目 <情報系科目>	コンピュータ・リテラシー A	政策学を学ぶために必要な表現力を身につけ、結果を広く人々に伝えるために、コンピュータの基本的知識とスキルを習得する。	学期末試験・レポート・授業内の課題やアンケートなど			◎							○
基本科目 <情報系科目>	コンピュータ・リテラシー B	政策学を学ぶために必要な表現力を身につけ、結果を広く人々に伝えるために、コンピュータの基本的知識とスキルを習得する。	学期末試験・レポート・授業内の課題やアンケートなど			◎							○
基本科目 <政策系科目>	政策学概論 A	「政策学とは何か」、「政策とはどのような場面で活用するのか」、「政策学の学際的位置づけとは」などについて、現在の日本の課題を踏まえながら考察を深めます。	毎学年末試験60% 授業態度（積極性や課題提出）40%	○				◎	○				
基本科目 <政策系科目>	政策学概論 B	政策学の決定や実施の理論的展開、国際社会における政策学について、現在の日本や世界の課題を踏まえながら考察を深めます。	毎学年末試験60% 授業態度（積極性や課題提出）40%	○				◎	○				
基本科目 <政策系科目>	政策研究の基礎数学 A	社会科学の様々な分野（経済、経営、政治など）で用いられている数学を正しく理解するために必要な知識と計算能力を身につけるとともに、時事的な問題について、表・グラフ・関数などを用いて定量的に把握し他者に説明できるようになることを目的とします。	授業中の問題演習、数理に関するレポート提出、まよめの期末試験の3要素から評価を行う。	○		○	○	○					○

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー									
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8		
基本科目 <政策系科目>	政策研究の基礎数学 B	社会科学の様々な分野（経済、経営、政治など）で用いられている数学を正しく理解するために必要な知識と計算能力を身につけるとともに、時事的な問題について、表・グラフ・関数などを用いて定量的に把握し他者に説明できるようになることを目的とします。	授業中の問題演習、数理に関するレポート提出、まとめの期末試験の3要素から評価を行う。	○		○	○	○					○
基本科目 <政策系科目>	政策研究基礎 A	2年次以降の有効な学修の基礎となることを目標に、政策の基本に関わる経済学・法学・政治学・行政学・国際関係論の基礎を学ぶことで政策の策定・実施・評価に関する知識を修得するとともに、現実社会に起きている多様な問題とその捉え方を学ぶことで時事力・問題発見能力を修得することを目的とする。	授業内のディスカッション・演習または小テストと、期末試験で評価	◎			○						
基本科目 <政策系科目>	政策研究基礎 B	2年次以降の有効な学修の基礎となることを目標に、日本の行政機構に従って各省庁の制度・政策・法律の基本的な知識を修得するとともに、現実社会に起きている多様な問題への具体的な対応策を知ることを目指す。	授業内のディスカッション・演習または小テストと、期末試験で評価	◎			○						
基本科目 <キャリア系科目>	キャリアアクション	新卒一括採用という日本の就職市場について正しく理解し、自分が今後取り組むことを具体的に計画・実行できるようになることを目的とする。3年前期でのキャリアアクションでは特に、インターンシップ・仕事体験への参加の準備を具体的な目標とする。	授業中の課題演習、キャリアに関するレポート提出、まとめの期末試験の3要素から評価を行う。	○	○		○		○	○			○
基本科目 <キャリア系科目>	キャリアリサーチ	新卒一括採用という日本の就職市場について正しく理解し、自分が今後取り組むことを具体的に計画・実行できるようになることを目的とする。2年生後期のキャリアリサーチでは特に、社会には多様な仕事があり、またそれぞれの仕事で求められる能力も様々であることを理解して、仕事に関する視野を広げることを目的とする。	授業中の課題演習、キャリアに関するレポート提出、まとめの期末試験の3要素から評価を行う。	○	○		○		○	○			○
<専門科目>	ゲーム理論と A I	データサイエンスセンターのカリキュラムマップを参照のこと	データサイエンスセンターのカリキュラムマップを参照のこと				◎		○				
<専門科目>	ゲーム論 A	現実の利害が対立する問題を、各プレイヤーの合理的な行動として定式化し、その解決策を提示・評価できるように、ゲーム理論の知識を得ることを目的とします。	授業中の問題演習、ゲーム理論を用いた社会問題に関するレポート提出、まとめの期末試験の3要素から評価を行う。	○		○	○	○					○
<専門科目>	ゲーム論 B	現実の利害が対立する問題を、各プレイヤーの合理的な行動として定式化し、その解決策を提示・評価できるように、ゲーム理論の知識を得ることを目的とします。	授業中の問題演習、ゲーム理論を用いた社会問題に関するレポート提出、まとめの期末試験の3要素から評価を行う。	○		○	○	○					○

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー									
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8		
<専門科目>	ジェンダー文化論	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと				○	○					△
<専門科目>	スポーツ経営論	一般組織経営的な切り口でスポーツ経営全般を学び、以下の基本的で必須な知識を修得し、その内容について理解することである。 1) 経営品質の概念、経営品質賞受賞企業事例 2) 業態と商圏分析及び販売促進 3) 会計の基礎 4) クレームとコンプライアンス また、上記知識を学び、論理的思考力及び問題解決力といった汎用的技能の修得を目標とする。	(1) 事前学習関連資料の事前提出 (2) 授業での参加姿勢 (3) レポート提出	◎					○				
<専門科目>	スポーツ産業論	スポーツ産業全般に関する知識を身につけ、スポーツに関連した産業やその事業内容について理解する。また、スポーツ産業に対する学習力を身につけ、生涯スポーツとかわかっていくための態度・志向性を修得することである。	(1) 事前学習関連資料の事前提出 (2) 授業での参加姿勢 (3) レポート提出	◎					○				
<専門科目>	ビジネス英会話 A	ビジネスコミュニケーションに必要な英語の運用能力を養う。 ビジネスの世界で活躍するために必要な社会や文化などについての幅広い知識を習得する。	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎								
<専門科目>	ビジネス英会話 B	ビジネスコミュニケーションに必要な英語の運用能力を養う。 ビジネスの世界で活躍するために必要な社会や文化などについての幅広い知識を習得する。	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎								
<専門科目>	医療福祉経営 A	医療制度や福祉政策の実態を踏まえた上で、病院運営や福祉施設経営の幅広い知識を得ることを目的とする。社会保障制度改革が推し進められていくにあたって、病院運営や福祉施設経営の在り方について主体的に考えられるようになることを目標とする。	小テスト・期末試験、提出課題・レポート等により総合的に評価する。	◎								○	
<専門科目>	リスクマネジメント A	リスク概念やリスクマネジメントに関する理論、およびリスク移転の重要な手段である保険の原理と制度について、基礎的な知識の取得を目的とする。また生活に現れるリスクを冷静に評価・判断し、保険というリスク移転手段での対応方法を策定できるようになることを目標とする。	期末試験、授業態度	◎					○				
<専門科目>	リスクマネジメント B	現実の保険市場と生命保険、自動車保険、火災保険、医療保険などの具体的な保険商品や年金制度などについて、その仕組みを理解することを目的とする。講義を通じてリスクに対応する適切な保険を評価・判断し選択できるようになることを目標とする。	期末試験、授業態度	◎					○				

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー									
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8		
<専門科目>	医療福祉経営 B	医療制度や福祉政策の実態を踏まえた上で、病院運営や福祉施設経営の幅広い知識を得ることを目的とする。社会保障制度改革が推し進められていくにあたって、病院運営や福祉施設経営の在り方について主体的に考えられるようになることを目標とする。	小テスト・期末試験、提出課題・レポート等により総合的に評価する。	◎								○	
<専門科目>	応用 A プログラミング	データサイエンスセンターのカリキュラムマップを参照のこと	データサイエンスセンターのカリキュラムマップを参照のこと				◎		○				
<専門科目>	家族関係の法政策	家族関係（夫婦、親子、相続）に関する現行の法政策に関する基礎知識の修得を目的とする。現行の家族関係に関する法的課題を発見し、その解決策を提示できる能力の修得を目標とする。	受講態度・授業への取り組み姿勢等の平常点と定期試験の結果によって総合的に評価する。	◎					○			△	
<専門科目>	科学技術思想 A	本講義は、科学技術の歴史的展開について多角的に学修することを目的としている。政策的に社会問題に取り組む場合、科学技術の知見は必要不可欠となる。本講義は現代を批判的に見る視点獲得につながる。	コメントシート等による講義内の取り組み（50%）、論述テスト（50%）	○	○			◎				○	
<専門科目>	科学技術思想 B	本講義は、科学技術の歴史的展開について多角的に学修することを目的としている。政策的に社会問題に取り組む場合、科学技術の知見は必要不可欠となる。本講義は現代を批判的に見る視点獲得につながる。	コメントシート等による講義内の取り組み（50%）、論述テスト（50%）	○	○			◎				○	
<専門科目>	会計学 A	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	○					◎				
<専門科目>	会計学 B	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	○					◎				
<専門科目>	環境政策 A	本講義においては環境経済学の基本的な理論や既存の環境政策の成り立ちと仕組みを理解することを目的とする。また、さまざまな環境政策の政策分析、政策決定、政策実施、政策評価について考察する力を身に付けることを目標とする。	筆記試験、環境社会検定可否、課題、授業貢献度・参加態度、各種検定の取得	◎					○			○	○

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー								
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	
<専門科目>	環境政策 B	本講義においては環境経済学の基本的な理論や既存の環境政策の成り立ちと仕組みを理解することを目的とする。また、さまざまな環境政策の政策分析、政策決定、政策実施、政策評価について考察する力を身に付けることを目標とする。	筆記試験、環境社会検定合格、課題、授業貢献度・参加態度、各種検定の取得	◎					○		○	○
<専門科目>	金融データ分析	データサイエンスセンターのカリキュラムマップを参照のこと	データサイエンスセンターのカリキュラムマップを参照のこと			◎		○				
<専門科目>	刑法各論	犯罪類型ごとの基礎的内容を学び、条文解釈に関する知識と論理的思考力を身に付け、自分なりの立場から犯罪現象への妥当な対応を導き出す問題解決力を養うことをこの授業の目的とします。	論述形式を中心とした学期内のレポート課題(2回予定)と期末試験を総合し、文章で論理的説明が出来るかを基準として成績を評価します。	◎			○	○			○	△
<専門科目>	刑法総論 A	刑法の基礎的な内容を学び、基礎的知識と法的論理的思考力を修得した上で、自分なりの立場から犯罪現象への妥当な対応を導き出す問題解決力を養うことをこの授業の目的とします。	論述形式を中心とした学期内のレポート課題(2回予定)と期末試験を総合し、文章で論理的説明が出来るかを基準として成績を評価します。	◎			○	○			○	△
<専門科目>	刑法総論 B	刑法の基礎的な内容を学び、基礎的知識と法的論理的思考力を修得した上で、自分なりの立場から犯罪現象への妥当な対応を導き出す問題解決力を養うことをこの授業の目的とします。	論述形式を中心とした学期内のレポート課題(2回予定)と期末試験を総合し、文章で論理的説明が出来るかを基準として成績を評価します。	◎			○	○			○	△
<専門科目>	経営学 A	将来、社会人になったときに、どのような組織も社会の一員である、という立場にたつて、広く物事を考え、問題解決を図れるようになることを目的とします。	5回のレポートで計65%、期末テスト35%で評価する。レポート提出が不十分な場合、1通あたり10%の評価をするプラスアルファレポートでの代替・追加評価もあり。	◎		○	○		○		○	○
<専門科目>	経営学 B	企業内の仕組みを知って、社会の課題を営利あるいは非営利組織によって解決する方法を体験し、また、経営学の基本的な理論を学習することによって、問題解決策の評価ができるようになります。学びの集大成として、事業計画発表会を行います。経営学Bで学んだ経営組織のそれぞれの持ち場としての職能、経営組織のあり方を理解して、社会課題解決のための創造的な事業を創出する作業をチーム、あるいは個人で行えるようになります。	3回のレポートで計30%、事業計画作成40%、期末テスト30%で評価する。レポート提出が不十分な場合、1通あたり、10%の評価をするプラスアルファレポートでの代替・追加評価もあり。	○		○	○	○	◎		○	○
<専門科目>	計量経済分析A	本講義では、経済理論から得られた関係式が現実妥当しているかを実際に得られたデータを用いて検証するため、表計算ソフトのExcelを使用して、より実践的な計量経済分析の基礎的な手法を学ぶことを目的とする。また、統計学の基礎、回帰分析の初歩に加えて成長論について理解を深めることを目標とする。	授業への取り組み姿勢、試験による総合的な評価	◎		○						

◎: 最もよく身に付けることができる能力
○: よく身に付けることができる能力
△: 身に付けることができる能力

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー									
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8		
<専門科目>	社会保険実務 A	社会保険制度の仕組みを理解したうえで、様々な立場で当該制度の問題点を指摘し、これを解決するための提言をすることができるようになる。	毎回の授業で実施する小テスト、期末試験窓	○		○	◎	○					
<専門科目>	社会保険実務 B	公的年金制度の仕組みを理解したうえで、被保険者、受給権者の立場で当該制度の問題点を指摘し、これを解決するための提言をすることができるようになる。	毎回の授業で実施する小テスト、期末試験等	○		○	◎	○					
<専門科目>	情報セキュリティ論	本講義は、いまや私たちの生活や社会の土台となったIT（情報技術）基盤への脅威とその対策となる「情報セキュリティ」の理論的、技術的、および政策的課題を明らかにして、その解決策について学ぶ。	講義中の確認テストや課題レポートなどによる形成的評価および期末試験による評価を合わせて行う				◎	○					
<専門科目>	情報通信政策論	本講義は、いまや私たちの生活や社会の土台となったIT（情報技術）の基盤であるインターネットなどの情報通信ネットワークについての政策的課題を明らかにして、その解決策について学ぶ。	講義中の確認テストや課題レポートなどによる形成的評価および期末試験による評価を合わせて行う	○		○		◎					
<専門科目>	政策デザイン論	本講義では、政策立案に必要な問題発見し、さまざまな代替案の中から政策立案を実施し、魅力的な政策提案力を身につけることが目的です。	平常点（授業への取り組み姿勢、課題提出）：80% 期末試験：20%	◎			○	○	○				
<専門科目>	政策過程論	政策過程に関する基本的な理論、それらが発展してきた背景を学ぶことで、政策過程の視点で政策を考察する力を身につけることが目的です。	平常点（授業への取り組み姿勢、課題提出）：40% 期末試験：60%	◎			○	○	○				
<専門科目>	政策評価論	政策評価に関する基本的な手法と限界を理解し、政策評価の視点で政策を考察する力を身につけることが目的です。	毎学年末試験60% 授業態度（積極性や課題提出）40%	◎			○						
<専門科目>	政策分析論	数学的、統計的なモデルを使った手法であるオペレーションズ・リサーチや、シミュレーションなどの手法を活用して、証拠に基づいた政策提案力を身につけることが目的です。	平常点（授業への取り組み姿勢、課題提出）：40% 期末試験：60%	◎			○	○	○				

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー								
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	
<専門科目>	政治学 A	政治学の命題は「誰が管理(統治)するのか」である。日本の政治・選挙制度と有権者の投票行動を学ぶことで、有権者の政治参加(統治)について受講生が考えることができるようにすることを講義の目的とする。	原則、期末試験100点満点(100%)で評価するが、毎回の講義後に提出してもらいアクションペーパーや、任意のレポート提出で60点まで期末試験の点数に積立可能である。従って、レポート提出等まで行った学生の場合、試験60%、レポート等提出40%となる。	◎			○	○				
<専門科目>	政治学 B	デモクラシー・政治過程を通して、有権者が政治に、そして政策にどのように関わっていくのか、また関わっていくべきなのかについて自らの力で考え、理解を深めていくことを目的とする。	原則、期末試験100点満点(100%)で評価するが、毎回の講義後に提出してもらいアクションペーパーや、任意のレポート提出で60点まで期末試験の点数に積立可能である。従って、レポート提出等まで行った学生の場合、試験60%、レポート等提出40%となる。	◎			○	○				
<専門科目>	宅建特殊演習 A	「宅建士試験」の合格を目標とした演習を中心とした授業です。主要3科目のうち、「宅地建物取引業法」を問題演習を中心として勉強していきます。秋の本試験合格のためには夏休みの過ごし方がポイントになります。夏休みの学習を有意義にするための「ベースメーカー」としての受験講座と考慮してください。	期末試験90%、及び課題報告等10% 【成績評価方法】評価の殆どは学期末試験の結果(①評価方法&②割合)であり、大学が定める基準(③評価基準)で評価します。僅かに点数が足りない場合、出席等を考量します。	○			○	○		○	◎	
<専門科目>	宅建特殊演習 B	「宅建士試験」の合格を目標とした演習を中心とした授業です。主要3科目のうち、「法令上の制限」を問題演習を中心として勉強していきます。秋の本試験合格のためには夏休みの過ごし方がポイントになります。夏休みの学習を有意義にするための「ベースメーカー」としての受験講座と考慮してください。	期末試験90%、及び課題報告等10% 【成績評価方法】評価の殆どは学期末試験の結果(①評価方法&②割合)であり、大学が定める基準(③評価基準)で評価します。僅かに点数が足りない場合、出席等を考量します。	○			○	○		○	◎	
<専門科目>	知的財産法 A	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと				○	○				
<専門科目>	知的財産法 B	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと				○	○				
<専門科目>	地方財政 A	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	○			○	○				
<専門科目>	地方財政 B	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	○			○	○				

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー									
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8		
<専門科目>	地方自治論	地方自治体に関わる諸問題の考察を通じて、地方自治とは何か、今後どうあるべきかを議論し、地方自治に関わる政策課題解決のための知識や技能の修得、それらに応用する能力を身につけることが目的である。	期末レポート(50%)、リアクションペーパー(40%)、授業での発言(10%)	◎				○	○				
<専門科目>	地方政策特講 A	地方自治の仕組みを理解し、社会に於ける問題に対して解決への情報収集や分析等の課題解決能力を身につけることを目的とする。また、まちづくりを始め地方自治や地方政治など社会に貢献する分野や地方公務員、大手企業に進路希望を持っている学生に対して幅広い知識修得、コミュニケーション能力の育成を目標とする。	事前事後の課題研究における発表資料、提出資料、授業態度	◎					○	○	○	○	
<専門科目>	地方政策特講 B	地方自治の仕組みを理解し、社会に於ける問題に対して解決への情報収集や分析等の課題解決能力を身につけることを目的とする。また、まちづくりを始め地方自治や地方政治など社会に貢献する分野や地方公務員、大手企業に進路希望を持っている学生に対して幅広い知識修得、コミュニケーション能力の育成を目標とする。	事前事後の課題研究における発表資料、提出資料、授業態度	◎					○	○	○	○	
<専門科目>	中小企業金融論	大手企業や金融機関に就職して中小企業との取引を行う業務に就く学生や、中小企業に就職してその経営に携わる可能性のある学生諸君に、経済学の理論と分析手法を中小企業の問題解決にどのように適用できるかを修得してもらうことを目的とする。さらに、金融機関が行う融資や経営支援、政府が行う政策支援を評価・判断し、それらを活用した効果的な問題解決の方法を策定・提言できるようになることを目標とする。	毎回の確認テスト、試験、その他(確認テストの取組状況、期末試験の成績、その他の指示事項の対応等から総合的に評価する)	◎									
<専門科目>	定量的政策評価	データサイエンスセンターのカリキュラムマップを参照のこと	データサイエンスセンターのカリキュラムマップを参照のこと				◎		○				
<専門科目>	都市経済論 A	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	○					○				
<専門科目>	都市経済論 B	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	○					○				
<専門科目>	都市計画法	①、「宅建試験」合格の素養を身につけるとともに、②、「都市計画法」や「宅地造成等規制法」等を学習素材として「法令上の制限」の基本的知識の習得を目的とします。「法令上の制限」の基本的知識の習得に基づき、卒業後社会人として建築行政等に対する具体的な問題解決の方法を提示できる能力の修得をこの授業の将来的な目標指針とします。	期末試験90%、及び課題報告等10% 【成績評価方法】評価の殆どは学期末試験の結果(①評価方法&②割合)であり、大学が定める基準(③評価基準)で評価します。僅かに点数が足りない場合、出席等を考量します。	○				○	○		○	◎	

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー									
				◎: 最もよく身に付けることができる能力 ○: よく身に付けることができる能力 △: 身に付けることができる能力									
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8		
<専門科目>	日本経済論 A	第二次世界大戦後から高度成長期、さらに安定成長期および長期不況期を対象として現代社会の課題と経済成長の仕組みを学び、現代的な日本経済の特徴をつかみ理解を深めることを目的とする。また、講義を通じて日本経済に関する知識と理解の獲得を目標とする。	期末試験、課題提出	◎		○							
<専門科目>	日本経済論 B	安定成長期および長期不況期を対象として現代社会の課題と経済成長の仕組みを学び、現代的な日本経済の特徴をつかみ理解を深めることを目的とする。また、講義を通じて日本経済に関する知識と理解の獲得を目標とする。	期末試験、課題提出	◎		○							
<専門科目>	不動産学 A	①、「宅建試験」合格の素養をみにつけるとともに、②、「宅地建物取引業法」を学習素材として「法令上の制限」の基本的知識の習得を目的とします。「宅地建物取引業法」の基本的知識の習得に基づき、卒業後社会人として行政法規等に対する具体的な問題解決の方法を提示できる能力の修得をこの授業の将来的な目標指針とします。	期末試験90%、及び課題報告等10% 【成績評価方法】評価の殆どは学期末試験の結果(①評価方法&②割合)であり、大学が定める基準(③評価基準)で評価します。僅かに点数が足りない場合、出席等を考量します。	○			○	○			○	◎	
<専門科目>	不動産学 B	①、「宅建試験」合格の素養をみにつけるとともに、②、「宅地建物取引業法」を学習素材として「法令上の制限」の基本的知識の習得を目的とします。「宅地建物取引業法」の基本的知識の習得に基づき、卒業後社会人として行政法規等に対する具体的な問題解決の方法を提示できる能力の修得をこの授業の将来的な目標指針とします。	期末試験90%、及び課題報告等10% 【成績評価方法】評価の殆どは学期末試験の結果(①評価方法&②割合)であり、大学が定める基準(③評価基準)で評価します。僅かに点数が足りない場合、出席等を考量します。	○			○	○			○	◎	
<専門科目>	不動産法規特殊演習 A	「宅建士試験」、「行政書士試験」、「法学検定試験」、及び「公務員試験」等の合格を目標とし、年明けから本格的に受験勉強をするための準備講座です。国家試験の共通科目として「権利関係」(民法)、就中、「民法総則」の択一試験に類出箇所である「意思表示」や「代理」等を中心に学習していきます。	期末試験90%、及び課題報告等10% 【成績評価方法】評価の殆どは学期末試験の結果(①評価方法&②割合)であり、大学が定める基準(③評価基準)で評価します。僅かに点数が足りない場合、出席等を考量します。	○			○	○			○	◎	
<専門科目>	不動産法規特殊演習 B	「宅建士試験」、「行政書士試験」、「法学検定試験」、及び「公務員試験」等の合格を目標とし、年明けから本格的に受験勉強をするための準備講座です。国家試験の共通科目として「権利関係」(民法)、就中、択一試験に類出箇所である「法定相続分」や「抵当権」のうち法定地上権等を中心に学習していきます。	期末試験90%、及び課題報告等10% 【成績評価方法】評価の殆どは学期末試験の結果(①評価方法&②割合)であり、大学が定める基準(③評価基準)で評価します。僅かに点数が足りない場合、出席等を考量します。	○			○	○			○	◎	
<専門科目>	復興政策論	政治学の命題である「誰が管理(統治)するのか」、行政学の命題である「どうやって管理(統治)するのか」を踏まえて、災害からの復興において「誰がどうやって(復興)政策を協働で企画・実施するのか」を受講生が考えることができるようにすることを講義の目的とする。	原則、期末試験100点満点(100%)で評価するが、レポート提出等により最大で60点まで期末試験の点数に横立可能である。従って、レポート提出等まで行った学生の場合、試験60%、レポート等提出40%となる。	○			○	◎					△
<専門科目>	防災政策論	政治学の命題である「誰が管理(統治)するのか」、行政学の命題である「どうやって管理(統治)するのか」を踏まえて、危機管理において「誰がどうやって政策を企画・実施するのか」を受講生が考えることができるようにすることを講義の目的とする。	原則、期末試験100点満点(100%)で評価するが、レポート提出等により最大で60点まで期末試験の点数に横立可能である。従って、レポート提出等まで行った学生の場合、試験60%、レポート等提出40%となる。	○			○	◎					△

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー								
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	
<専門科目>	民法特殊演習 A	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと				○	○				
<専門科目>	民法特殊演習 B	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと				○	○				
<専門科目>	労働市場の法政策	受講者の諸君が大学卒業後に身を置くことになる雇用社会の現実について、論理的かつ正確な分析力を高めることを目的とする。また、この講義を通じて雇用政策や労働市場に関する法令、判例、研究成果などの文献・資料を自ら検索し、正確に読解できる。わが国の雇用対策や法制度のあり方に関して建設的な意見・批判を提示できるようになることを目標とする。	期末試験、課題提出	◎				○			○	
<専門科目>	労働社会学 A	世界的に働く人々の世界の様変わりや日本と諸外国の事例を比較しながら理解を深めることを目的とする。本講義の目標は、課題に対して解決を目指す力を育むこととする。	リアクションペーパー、期末レポート	○	◎			○			○	○
<専門科目>	労働社会学 B	世界的に働く人々の世界の様変わりや日本と諸外国の事例を比較しながら理解を深めることを目的とする。本講義の目標は、課題に対して解決を目指す力を育むこととする。	リアクションペーパー、期末レポート	○	◎			○			○	○
<専門科目>選択必修	行政学 A	行政学の命題は「どうやって管理（統治）するのか」にある。ここに政治学の命題である「誰が管理（統治）するのか」を加えて、現在の日本政治行政において「誰がどうやって管理（統治）するのか」を受講生が考えることができるようにすることを講義の目的とする。	原則、期末試験100点満点（100％）で評価するが、毎回の講義後に提出してもらうリアクションペーパーや、任意のレポート提出で60点まで期末試験の点数に積立可能である。従って、レポート提出等まで行った学生の場合、試験60％、レポート等提出40％となる。	○				○	◎			
<専門科目>選択必修	社会保障法	社会保障法体系および各制度における給付の仕組みを理解し、社会保障法に関する基本的な知識を習得することを目的とする。また、授業を通して社会保障法の全体像を把握し、社会保障法の根底にある生存権や「連帯」について論理的に考える力を身に付けることを目標とする。	学期末試験、小テスト、リアクションペーパーによる総合的評価	◎			○	○			○	
<専門科目>選択必修	Area Studies A(Asia-Pacific)	This course presents a race relations, gender and polarisation between the two main ethnic groups of New Zealand will be examined, as well as attempts to redress historical injustices. We will also examine how and why New Zealand moved to create its own unique cultural identity, removed from its colonial past.	Participation Presentation Written Report Final quiz	○	◎		○	○			○	○

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー									
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8		
<専門科目>選択必修	Area Studies B (Europe)	Every student is encouraged to become a "country specialist", first by choosing a European country that he/she wishes to explore in detail and then through independent research prepare weekly "country reports" on a specified topic.	Weekly presentations (50%), Travel plan (25%), Final country report (25%)	○	○			○					○
<専門科目>選択必修	Area Studies C (America)	語学教育センターのカリキュラムマップを参照のこと	語学教育センターのカリキュラムマップを参照のこと		◎								
<専門科目>選択必修	Global Politics	The central goal of this course is to provide students with the opportunity to develop their understanding of the post-World War II fundamental topics which are deeply ingrained in the development of the (post)modern international system. Special emphasis will be put on the topic of Cold War and its influence on the key international events in the post-Cold War era after 1990. Students can also expect to further develop their knowledge about central international political issues today.	1. 1 weekly (online) tests (25%) 2. 1 midterm exam (25%) 3. 1 final exam (50%)	○	○			○					○
<専門科目>選択必修	International Relations	The course aims at introducing the student to the basic theories and issues in the field of international relations and politics. It also aims at introducing the student to the development of international relations discipline in Japan.	1. 1 weekly (online) test (25%) 2. 1 midterm exam (25%) 3. 1 final research project (50%)	○	○			○					○
<専門科目>選択必修	NPO論	NPOとは何か、現在の日本の課題と絡めて課題発見・見解のための幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得する。	学期末試験・レポート・授業内の課題やアンケートなど					◎					○
<専門科目>選択必修	アート・マネジメント	芸術活動を通じた地域の活性化や生きがいの創出といった「社会と芸術をつなぐ装置」としての劇場や美術館を理解し、そこに含まれる課題解決の能力を身につけることができる。	期末レポート(40%)、小レポート(50%)、授業での発言(10%)	◎				○	△				
<専門科目>選択必修	行政学B	行政の組織の実態と組織の論理(組織論)を把握し、政策がどのようなプロセスで作られ成立するのかを理解することを目的とする。また地方上級の公務員試験等の問題を用いて理解の習熟を図る。	原則、期末試験100点満点(100%)で評価するが、毎回の講義後に提出してもらうアクションペーパーや、任意のレポート提出で60点まで期末試験の点数に積立可能である。従って、レポート提出等まで行った学生の場合、試験60%、レポート等提出40%となる。	○				○	◎				
<専門科目>選択必修	コミュニティ・ビジネス論	従来の社会システムでは解決できない課題を、ビジネスの手法を用いて解決しているコミュニティビジネスの概念を整理し、その存在を探索していく。	学期末試験・レポート・授業内の課題やアンケートなど					○	◎				

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー									
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8		
<専門科目>選択必修	デジタルガバメント論	本講義は、デジタル技術を利用して行政の効率化や利用者の利便性の向上を目指すデジタルガバメント（電子政府）の理論的、技術的、および政策的課題を明らかにし、その解決策について学ぶ。	講義中の確認テストや課題レポートなどによる形成的評価および期末試験による評価を合わせて行う	○		○	◎	○					
<専門科目>選択必修	デジタルビジネス論A	本講義は、人工知能（AI）の基礎知識について学び、AIが変える社会や仕事の未来について考える。	講義中の確認テストや課題レポートなどによる形成的評価および期末試験による評価を合わせて行う	○		◎		○					
<専門科目>選択必修	デジタルビジネス論B	本講義は、ブロックチェーンの基礎知識について学び、ブロックチェーンが変える社会の未来について考える。	講義中の確認テストや課題レポートなどによる形成的評価および期末試験による評価を合わせて行う	○		◎		○					
<専門科目>選択必修	ビジネスキャリア A	働くことの基礎的な理解を深めることを目的として、各自のキャリア資産の棚卸しや強み・弱みの確認および他者との協働を通じた問題解決のためのグループワーク等を行う。これにより自らのキャリアプランを具体的に考えていく力を身につけることを目標とする。	課題取組評価、期末試験40%、個人ワーク、グループワークによる総合的評価	◎	○		○	○	○	○	○	○	○
<専門科目>選択必修	ビジネスキャリア B	3年次からの就職活動の基礎となる「業界・企業分析」の重要性とその定量的・定性的な分析のための基本的な手法を学び、さらにチーム単位での研究と発表を通じて他者に伝え、受講者全員のノウハウの共有と向上を図ることも目的とする。また、授業を通じて学べたことを自らの就職活動でそれを活用できるようになることを目標とする。	課題取組評価、期末試験40%、個人ワーク、グループワークによる総合的評価	◎	○		○	○	○	○	○	○	○
<専門科目>選択必修	ビジネス法務 A	ビジネスと法律とのかかわりを理解するとともに、現代社会で発生している出来事について、法律に基づいた検証を行い、将来に向けた解決方法を習得できるようになる。	毎回の授業で実施する小テスト、期末試験等	○			○	○	○				
<専門科目>選択必修	ビジネス法務 B	ビジネスと法律とのかかわりを理解するとともに、現代社会で発生している出来事について、法律に基づいた検証を行い、将来に向けた解決方法を習得できるようになる。	毎回の授業で実施する小テスト、期末試験等	◎			○	○	○				
<専門科目>選択必修	プログラミング A	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと			◎		○					

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー									
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8		
<専門科目>選択必修	プログラミングB	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと			◎		○					
<専門科目>選択必修	マクロ経済理論A	マクロ経済の基本的な概念や考え方の修得、経済政策の理解、および各種指標やデータの習熟。	論述試験・レポート・授業内の課題など	◎			○	○					△
<専門科目>選択必修	マクロ経済理論B	マクロ経済の基本的な概念や考え方の修得、経済政策の理解、および各種指標やデータの習熟。	論述試験・レポート・授業内の課題など	◎			○	○					△
<専門科目>選択必修	ミクロ経済理論A	ミクロ経済学の基礎知識の修得、経済学の方法論の理解、および現実経済の課題の発見と解決方法の探求。	論述試験・レポート・授業内の課題など	◎			○	○					△
<専門科目>選択必修	ミクロ経済理論B	ミクロ経済学の基礎知識の修得、経済学の方法論の理解、および現実経済の課題の発見と解決方法の探求。	論述試験・レポート・授業内の課題など	◎			○	○					△
<専門科目>選択必修	医事法制A	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと				○	○					
<専門科目>選択必修	医事法制B	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと				○	○					
<専門科目>選択必修	介護概論A	介護に関わる諸知識（介護の目的、機能、歴史、介護保険制度、介護の提供体制、介護の倫理など）の習得を目的とする。また、本講義を通じて今後の介護施策の在り方について主体的に考察を行えるようになることを目標とする。	小テスト・期末試験、提出課題・レポートで総合的に評価する。	◎				○				○	

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー										
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8			
<専門科目>選択必修	健康と医療の経済学 B	健康と医療の経済学の基礎理論、医療保険制度の仕組み、医療の提供体制などの幅広い知識を網羅的に得ることを目的とする。これにより、国民の健康に関わる保健医療政策について主体的に考えられるようになることを目標とする。	小テスト・期末試験、提出課題・レポート等により総合的に評価する。	◎									○	
<専門科目>選択必修	憲法（基本的人権）	憲法に関する体系的な知識の習得と理解、特に、憲法に於ける「二大分野」の一方に当たる人権を理解することを目標とする。	定期期末試験、及び、授業内のリアクションペーパーによって総合的に行う。なお、具体的な比率等はシラバスに記載がある。	◎				○	○					○
<専門科目>選択必修	憲法（統治機構）	憲法に関する体系的な知識の習得と理解、特に、憲法に於ける「二大分野」の一方に当たる統治機構を理解することを目標とする。	定期期末試験、及び、授業内のリアクションペーパーによって総合的に行う。なお、具体的な比率等はシラバスに記載がある。	◎				○	○					○
<専門科目>選択必修	交通経済学	応用経済学としての交通経済学の基本的な理論の修得と、その理論に基づいて交通問題を分析できる力を養うことを目的とします。	授業内のグループディスカッション・演習または小テストと、期末試験で評価	○				○	◎					
<専門科目>選択必修	交通政策	交通経済学の理論・分析ツールを応用して、具体的な交通問題に対する政策を導出・評価できる力を養うことを目的とします。	授業内のグループディスカッション・演習または小テストと、期末試験で評価	○				○	◎					
<専門科目>選択必修	公共経済学 A	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	○					◎					
<専門科目>選択必修	公共経済学 B	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	○					◎					
<専門科目>選択必修	公共政策学 A	社会的な関心事となっている様々な政策課題について、どのような共通点や特徴があるのかを判断し、その課題の適切な解決の方法を提示できるように、公共政策学の基本知識の獲得を目指す。	リアクションペーパー（30%）と期末試験（70%）で評価を行う。	○				○	◎					

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー									
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8		
<専門科目>選択必修	公共政策学B	国や地方自治体が公共政策をどのように決定しているかを理解し、社会的な関心事となっている様々な公共政策の決定過程を説明できるように、公共政策学の基本知識の獲得を目指す。	リアクションペーパー（30%）と期末試験（70%）で評価を行う。	○			○	◎					
<専門科目>選択必修	公立文化施設論	公立文化施設が抱える課題を歴史的な文脈を踏まえて思考できるように。社会と文化の関係について独自の見解を述べるようになる。	期末レポート（50%）、リアクションペーパー（40%）、授業での発言（10%）	○	○		◎						△
<専門科目>選択必修	行政法A	行政法（組織法、作用法）で習ったことを深く理解することを目的とする。基本の理解及び国家試験等の過去問の一部に対応できることを目的とする。	試験	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<専門科目>選択必修	行政法B	行政法（国家補償）の基本を理解することを目的とする。基本の理解及び国家試験等の過去問の一部に対応できることを目標とする。	試験	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<専門科目>選択必修	国際関係特講	国際関係論の授業では、国際関係学の基礎を学ぶことで現代国際社会やグローバル化に関する基本知識を修得するとともに、グローバル社会に起きている多様な問題とその捉え方を学ぶことで問題発見能力を修得することを目的とする。	①週小テスト（25%） ②中間テスト（25%） ③最終テスト（50%）	○	○			○					○
<専門科目>選択必修	国際政治外交史A	国際政治外交史に関する体系的な知識の習得と理解、特にヨーロッパ外交史について、史料に裏付けられた事実と、それらを現代の社会に投影させ、過去の史実と現代社会の実際を理解することを目標とする。	定期期末試験、及び、授業内のリアクションペーパーによって総合的に行う。なお、具体的な比率等はシラバスに記載がある。	◎			○	○				○	
<専門科目>選択必修	国際政治外交史B	国際政治外交史に関する体系的な知識の習得と理解、特に日本外交史について、史料に裏付けられた事実と、それらを現代の社会に投影させ、過去の史実と現代社会の実際を理解することを目標とする。	定期期末試験、及び、授業内のリアクションペーパーによって総合的に行う。なお、具体的な比率等はシラバスに記載がある。	◎			○	○				○	
<専門科目>選択必修	国際法A	国際法に関する体系的な知識の習得と理解、特に、国際法の法源、国際法と国内法、国際法主体、国際組織などの国際法の法的枠組と現実社会を理解することを目標とする。	定期期末試験、及び、授業内のリアクションペーパーによって総合的に行う。なお、具体的な比率等はシラバスに記載がある。	◎			○	○				○	

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー									
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8		
<専門科目>選択必修	国際法 B	国際法に関する体系的な知識の習得と理解、特に、国家機関、国家領域、国際領域、国家責任などの国際法の法的枠組と現実社会を理解することを目標とする。	定期期末試験、及び、授業内のリアクションペーパーによって総合的に行う。なお、具体的な比率等はシラバスに記載がある。	◎				○	○			○	
<専門科目>選択必修	財政学 A	財政の役割を理解し、日本の財政状況について説明できる。特に、租税、公債および経費の各論について、基本的なしくみを理解し、その課題について検討できる。	論述試験・レポート・授業内の課題など	○				○	◎				
<専門科目>選択必修	財政学 B	財政の役割を理解し、日本の財政状況について説明できる。特に、予算、社会保障および地方財政の各論について、基本的なしくみを理解し、その課題について検討できる。	論述試験・レポート・授業内の課題など	○				○	◎				
<専門科目>選択必修	社会安全政策論	本講義では、警察の取組と組織制度についての基礎的な知識を学び、新聞記事・ニュース報道を理解でき、他者に説明できる能力、問題発見力・解決力の修得を目的とします。	授業内の小テスト（Webテスト）および期末試験（筆記試験）						◎	○		○	
<専門科目>選択必修	社会調査法（質的調査）	この科目では、他者へのインタビューや人々の観察などの数量的なデータ以外を扱う質的調査の手法について学び、その学びを通して自分および他者（社会）を把握・理解する力を身につけることを目指す。	授業で書いてもらうコメントペーパー（毎回）とレポート（数回）、および期末筆記試験。コメントペーパー20%、レポート50%、期末筆記試験30%。	○	◎	○	△			△			○
<専門科目>選択必修	社会調査法（量的調査）	この科目では、アンケートや統計資料などの数量的なデータを扱う量的調査の手法について学び、その学びを通して自分および他者（社会）を把握・理解する力を身につけることを目指す。	授業で書いてもらうコメントペーパー（毎回）とレポート（数回）、および期末筆記試験。コメントペーパー20%、レポート50%、期末筆記試験30%。	○	○	◎	△			△			○
<専門科目>選択必修	社会福祉の国際比較 A	グローバル社会における福祉課題やアメリカ社会が直面している福祉課題を見極めることをねらいとする。他国の福祉を通して異文化を理解する視点を育むと同時に、問題解決を図る能力を養うことを目標とする。	取り組み姿勢と毎回の課題（50%）、学年末試験（50%）	◎	○				○				
<専門科目>選択必修	社会福祉の国際比較 B	現代中国社会において顕在化している多様な福祉課題の存在に目を向け、課題の本質を見極めることをねらいとする。他国の社会で表面化している福祉課題を改善・解決していくための能力を育むことを目標とする。	取り組み姿勢と毎回の課題（50%）、学年末試験（50%）	◎	○				○				

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー									
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8		
<専門科目>選択必修	社会福祉概論A	福祉、社会福祉とは、を考え、現代社会において健康で生きる私たちの関係について理解を深めることをねらいとする。本科目の学びを通して、福祉への理解を深め、自らの言葉で福祉を語るできるようになり、現代社会に存在する福祉課題へ目を向けることができるようになることを目標としている。	取り組み姿勢と毎回の課題(50%)、学年末試験(50%)	◎									○
<専門科目>選択必修	社会福祉概論B	福祉、社会福祉への基本的理解を踏まえ、現代社会が抱える福祉課題を発見し、課題の改善・解決に導く能力と実践力を育むことを目標に掲げている。	取り組み姿勢と毎回の課題(50%)、学年末試験(50%)	○			◎						
<専門科目>選択必修	社会福祉施設経営A	実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と課題発見・解決し複数の利害を調整する能力を養う	主にレポート課題や記述試験を中心に評価。また授業参加姿勢も踏まえ評価する	◎			○	○	○				
<専門科目>選択必修	社会福祉施設経営B	実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と課題発見・解決し複数の利害を調整する能力を養う	主にレポート課題や記述試験を中心に評価。また授業参加姿勢も踏まえ評価する	◎			○	○	○				
<専門科目>選択必修	社会保障財政A	本講義を通して、社会保障と財政との関わり、社会保障財政の歴史の変遷と健全な社会保障財政のあり方、主な社会保険の構造と仕組みなどの基本知識を得ることを目的とする。	出席状況、授業での議論への貢献、中間テストや提出課題の成績(50%)；期末試験(50%)による形成的・総合的評価。	○	○		○	◎	○	○			○
<専門科目>選択必修	社会保障財政B	本講義を通して、主な社会保険制度(年金・医療・失業・介護)などの仕組み、内容、財政状況に関する基本知識を理解してもらい、主要国の同制度との比較で海外の諸制度についても一定の知識を得ることを目的とする。	出席状況、授業での議論への貢献、中間テストや提出課題の成績(50%)；期末試験(50%)による形成的・総合的評価。	○	○		○	◎	○	○			○
<専門科目>選択必修	社会保障論A	本講義を通して、社会保障制度の存在意義、歴史及び基本体系、また社会保険制度の中の医療保険制度と介護保険制度の仕組み、内容などの知識を得ることを目的とする。	出席状況、授業での議論への貢献、中間テストや提出課題の成績(50%)；期末試験(50%)による形成的・総合的評価。	◎	○		○	◎	○	○			○
<専門科目>選択必修	社会保障論B	本講義を通して、公的年金制度、雇用保険制度、労災保険制度、生活保護制度及び社会福祉制度と社会手当制度の仕組みと内容などの知識を得ることを目的とする。	出席状況、授業での議論への貢献、中間テストや提出課題の成績(50%)；期末試験(50%)による形成的・総合的評価。	○	○		○	◎	○	○			○

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー									
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8		
<専門科目>選択必修	手形・小切手法 A	手形・小切手に関する法的知識を学び、時事力・問題発見力・解決力の修得を目的とします。そのことにより、手形・小切手関連の新聞記事・ニュース報道を理解でき、基礎的な問題点と解決方法を他者に説明できる能力を身につけます。	授業内の小テスト (Webテスト) および期末試験 (筆記試験)			○		◎					
<専門科目>選択必修	手形・小切手法 B	手形・小切手法、商法、商標法に関する法的知識を学び、時事力・問題発見力・解決力の修得を目的とします。そのことにより、これら法律に関連する新聞記事・ニュース報道を理解でき、基礎的な問題点と解決方法を他者に説明できる能力を身につけます。	授業内の小テスト (Webテスト) および期末試験 (筆記試験)			○		◎					
<専門科目>選択必修	障害者福祉論 A	「障害者の権利に関する条約」批准国の一員として、「障害」を正しく理解し、障害者の権利の増進および擁護のために努力する責任を有していることを自覚し、障害者福祉への理解を深めることをねらいとしている。この科目での学びを通じて、過去・現在の障害者福祉に関する基本的な事柄を理解し、障害者福祉の実情に目を向け、問題を見極める力を育むことを目標としている。	取り組み姿勢と毎回の課題 (50%)、学年末試験 (50%)	◎			○						
<専門科目>選択必修	障害者福祉論 B	障害への正しい理解を土台に、障害者の権利擁護に向けた環境づくりとその課題について学ぶことをねらいとしている。障害者福祉における課題の発見と、その課題の改善・解決に向けた能力、および実践的能力を培うことを目標に掲げている。	取り組み姿勢と毎回の課題 (50%)、学年末試験 (50%)	○			◎	○					
<専門科目>選択必修	食と農の経済学 A	本講義は、生産、流通、消費の三局面から構成し、農業経済学の基本的な理論や既存の農業・食料政策の成り立ちと仕組みを理解することを目的としている。講義を通じ、ミクロ経済学を応用した「食と農」を理解できるようになることを目標とする。	筆記試験70%、課題20%、授業貢献度・参加態度10%、各種検定の取得・受験状況 + α 加点対象。	◎				○					
<専門科目>選択必修	食と農の経済学 B	本講義は、生産、流通、消費の三局面から構成し、農業経済学の基本的な理論や既存の農業・食料政策の成り立ちと仕組みを理解することを目的としている。講義を通じ、ミクロ経済学を応用し食糧経済を理解できるようになることを目標とする。	筆記試験70%、課題20%、授業貢献度・参加態度10%、各種検定の取得・受験状況 + α 加点対象。	◎				○					
<専門科目>選択必修	多文化社会論	白人社会とマオリ民族を中心に現代ニュージーランド社会を俯瞰して社会格差、健康状況、教育、そのほかの社会問題について知識を深める。また、マオリ民族に対する国の政策がどうマオリ民族へ影響を与え、またマオリコミュニティへの影響も明らかにするとともに、移民問題とニュージーランド全社会への影響について学ぶことを目的とする。本講義を通して、批判的思考と分析の技術を向上させることを目標とする。	授業への参加度、レポート、プロジェクト	○	◎		○	○			○		○
<専門科目>選択必修	地域イノベーション	地域調査により坂戸市の現状を理解するとともに、地域に賑わいをもたらす具体的なプロジェクトを提案する能力、他者との協働によってプロジェクトを遂行する能力を得ることを目的とします。	毎回の授業到達度レポートの内容、グループワークでの貢献度、実施したプロジェクトの成果および発表と討議の内容					○	◎		◎		

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー								
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	
<専門科目>選択必修	地域活性化論	地域の抱える課題を認識し、生じている課題の地域的背景を理解した上で、地域活性化のための方法を提案し、実行するために必要な知識を得るとともに、それらの知識を他者に説明できるようになことを目的とします。	毎回の授業到達度レポートの内容、グループワークでの貢献度、策定したプロジェクトの企画・計画書および発表と討議の内容						○	◎	◎	
<専門科目>選択必修	地域金融論	大手企業や金融機関に就職して中小企業との取引を行う業務に就く学生や、中小企業に就職してその経営に携わる可能性のある学生諸君に、経済学の理論と分析手法を中小企業の問題解決にどのように適用できるかを修得してもらうことを目的とする。さらに、金融機関が行う融資や経営支援、政府が行う政策支援を評価・判断し、それらを活用した効果的な問題解決の方法を策定・提言できるようになることを目標とする。	毎回の確認テスト、試験、その他（確認テストの取組状況、期末試験の成績、その他の指示事項の対応等から総合的に評価する）	◎					○			
<専門科目>選択必修	地域情報化論	本講義は、地域においてデジタル技術を利用して行政の効率化や利用者の利便性の向上を目指す「地域情報化」の理論的、技術的、および政策的課題を明らかにし、その解決策について学ぶ。	都道府県における情報化推進計画および市町村レベルで構築された情報システムの紹介する説明資料（PowerPoint）の提出発表により評価を行う。筆記の期末試験は実施しない。	○		○			◎			
<専門科目>選択必修	地域政策	地域政策の基本的な理論としての地域科学ないしは地域経済学、およびその周辺学問領域を学ぶとともに、国と地方自治体における地域政策の歴史・手法・制度を学びます。	授業内のグループディスカッション・演習または小テストと、期末試験で評価	○					○	◎		
<専門科目>選択必修	地域防災政策 A	この講義では地域防災をテーマとし、どうすれば地域の防災力が上がるのかを座学、及びワークショップ形式で受講者と考えていく。社会に出て活躍するためには、大学生活4年間で、「学ぶ」→「気づく」→「調べる」→「実践する」の4つの力を養う必要がある（研究者を目指す者は、さらに「探求する」能力が求められる）。この講義では、最初のステップである「学ぶ」力と、第2のステップである「気づく」力を身につけることを目的とする。	毎回のワークショップの成果（60%）、J-DAGの参加と反省会の出来（40%）						△	○	○	◎
<専門科目>選択必修	地域防災政策 B	この講義では、地域防災・災害復興をテーマとし、大学の災害対応と学生の災害対応について、全学の避難訓練等を通じて考察し課題を分析する。また被災地の復興について、ガバナンスの観点から受講者と考えていく。社会に出て活躍するためには、大学生活4年間で、「学ぶ」→「気づく」→「調べる」→「実践する」の4つの力を養う必要がある（研究者を目指す者は、さらに「探求する」能力が求められる）。この講義では、第2のステップである「気づく」、第3のステップである「調べる」力を身につけることを目的とする。	毎回のワークショップの成果（60%）、避難所運営に関するグループワークの発表と成果物（40%）						△	○	○	◎
<専門科目>選択必修	都市社会学 A	東京の盛り場（浅草・銀座・新宿・渋谷）の分析を通して、都市社会学の基本的な知識・概念・分析方法を学びます。	授業内課題・レポート、期末試験など総合的に判断	◎					○			○
<専門科目>選択必修	都市社会学 B	都市に働く「権力」を読み解く作業を通して、都市社会学の知識・概念・分析方法についてさらに深く学びます。	授業内課題・レポート・期末試験など総合的に判断	◎					○			○

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー									
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8		
<専門科目>選択必修	文化史 A	多様な価値観を持つ世界に残される文化財への理解を深めること、その保護と活用についての問題意識を持つこと	授業内課題、期末試験	◎				○					
<専門科目>選択必修	文化史 B	多様な価値観を持つ世界に残される文化財への理解を深めること、その保護と活用についての問題意識を持つこと	授業内課題、期末試験	◎				○					
<専門科目>選択必修	文化政策 A	法という側面から文化政策のこれまでを理解するとともに、これからの文化政策のあり方を他者と協働しながら、導き出す能力を身につけることができる。	各回的小レポート(40%)、小グループ発表(30%)、要約発表(20%)、ディスカッションでの発言(10%)	○	◎			○	○				○
<専門科目>選択必修	文化政策 B	テキストに基づいたグループディスカッションを通じて、自治体文化行政における実務レベルでの課題を把握するとともに、その課題解決に向けて自らの意見を述べるようになる。	各回的小レポート(40%)、小グループ発表(30%)、要約発表(20%)、ディスカッションでの発言(10%)	○	○			◎	○				○
<専門科目>選択必修	民法(債権各論)	民法の中の債権各論部分に関する基礎知識の修得および法的思考力の涵養を目的とする。債権各論部分に関する課題を発見し、その解決策を提示できる能力の修得を目標とする。	受講態度・授業への取り組み姿勢等の平常点と定期試験の結果によって総合的に評価する。	◎				○	○				△
<専門科目>選択必修	民法(債権総論)	民法の中の債権総論部分に関する基礎知識の修得および法的思考力の涵養を目的とする。債権総論分野に関する課題を発見し、その解決策を提示できる能力の修得を目標とする。	受講態度・授業への取り組み姿勢等の平常点と定期試験の結果によって総合的に評価する。	◎				○	○				△
<専門科目>選択必修	民法(総則)	民法総則に関する基礎知識の修得および法的思考力の涵養を目的とする。民法総則分野に関する課題を発見し、その解決策を提示できる能力の修得を目標とする。	受講態度・授業への取り組み姿勢等の平常点と定期試験の結果によって総合的に評価する。	◎				○	○				△
<専門科目>選択必修	民法(物権)	民法の中の物権法に関する基礎知識の修得および法的思考力の涵養を目的とする。物権法分野に関する課題を発見し、その解決策を提示できる能力の修得を目標とする。	受講態度・授業への取り組み姿勢等の平常点と定期試験の結果によって総合的に評価する。	◎				○	○				△

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー								
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	
<専門科目>選択必修	労働法	「雇われて働く」者にとっては自分の身を守るために、また使用者になって人を「雇って働かせる」ことになる場合には法令遵守が求められることから、労働法における最新かつ正確な知識を習得することを目的とする。 授業を通じてわが国労働法の現状を把握し、法令や判例に関する正確な知識を駆使して職場での紛争等への解決の道筋を構築できるようになることを目標とする。	学期末試験、小テスト、リアクションペーパーによる総合的評価	◎			○	○			○	
<関連科目>	English Communication I A	The purpose of English Communication courses is to enable students to participate in English conversations from the fundamental basics of asking and answering basic questions relating to introductions, etc.	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎							○
<関連科目>	English Communication I B	The purpose of English Communication courses is to enable students to participate in English conversations from the fundamental basics of asking and answering basic questions relating to introductions, etc.	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎							○
<関連科目>	English Communication II A	The purpose of English Communication courses is to enable students to participate in English conversations from the fundamental basics of asking and answering basic questions relating to introductions, etc.	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎							○
<関連科目>	English Communication II B	The purpose of English Communication courses is to enable students to participate in English conversations from the fundamental basics of asking and answering basic questions relating to introductions, etc.	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎							○
<関連科目>	Modern European Society	The central goal is to first introduce the student to Japan's relations with Europe and then in the second part to explore the recent developments, underlying topics and specific issues. Students will be able to reflect on the general historical, political, and economic dimensions of Japan-Europe relations from the early 1990s to the present. By the end of the course students can also expect to gain an overall understanding of security, trade, and cultural topics with selected European countries and institutions. The course is recommended to all students who plan to write a graduation thesis related to European affairs, especially EU.	1. Weekly (online) test (25%) 2. Midterm test (25%) 3. Final test (50%)	○	○			○				○
<関連科目>	Oral English I A	The purpose of the Oral English courses is to give students listening and speaking practice using authentic-like English. Through practice in class and review outside of class, students can improve their pronunciation, fluency, vocabulary and listening comprehension.	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎							○
<関連科目>	Oral English I B	The purpose of the Oral English courses is to give students listening and speaking practice using authentic-like English. Through practice in class and review outside of class, students can improve their pronunciation, fluency, vocabulary and listening comprehension.	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎							○

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー									
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8		
<関連科目>	Oral English II A	The purpose of the Oral English courses is to give students listening and speaking practice using authentic-like English. Through practice in class and review outside of class, students can improve their pronunciation, fluency, vocabulary and listening comprehension.	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎								○
<関連科目>	Oral English II B	The purpose of the Oral English courses is to give students listening and speaking practice using authentic-like English. Through practice in class and review outside of class, students can improve their pronunciation, fluency, vocabulary and listening comprehension.	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎								○
<関連科目>	Public Communication I A	コミュニケーション力を高めるReadingとListening力を身につけさせる。 自分の意見や考えを英語で伝える力を向上させる。 クリティカルシンキングを身につけさせる。	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎								○
<関連科目>	Public Communication I B	コミュニケーション力を高めるReadingとListening力を身につけさせる。 自分の意見や考えを英語で伝える力を向上させる。 クリティカルシンキングを身につけさせる。	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎								○
<関連科目>	Webデザイン入門	Webページを制作するうえで必要となる基礎的な知識と技術を習得し、適切かつ効果的にWebページを活用することができる実践的な能力を身に付けることを目的とする。また、Webページが社会や情報産業に果たす役割や及ぼす影響を考慮し、情報社会に参画できることを目標とする。	授業への取り組み姿勢、試験による総合的な評価	○		◎							
<関連科目>	Webマーケティング入門	Webについての理解を深め、Webアプリケーション開発に必要な一連の技術を身に付けることを目的とする。また、基本的なWebアプリケーションプログラムの開発を通じて、Webサービスの可能性を考察することができることを目標とする。	授業への取り組み姿勢、試験による総合的な評価	○		◎							
<関連科目>	インターンシップⅠ	公的機関が直面している政策課題を現場での体験を通して発見し、その具体的な問題解決の方法を広く人々に伝えられるようになると共に、自己の職業適性を発見することを目的とする。	実習に関する希望調書と面談、実習期間の取り組み（主にインターンシップ日誌から）、事後報告会での発表の3要素から評価を行う。	○	○				○	○		○	
<関連科目>	インターンシップⅡ	公的機関が直面している政策課題を現場での体験を通して発見し、その具体的な問題解決の方法を広く人々に伝えられるようになると共に、自己の職業適性を発見することを目的とする。	実習に関する希望調書と面談、実習期間の取り組み（主にインターンシップ日誌から）、事後報告会での発表の3要素から評価を行う。	○	○				○	○		○	

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー								
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	
<関連科目>	インターンシップⅢ	公的機関が直面している政策課題を現場での体験を通して発見し、その具体的な問題解決の方法を広く人々に伝えられるようになると共に、自己の職業適性を発見することをも目的とする。	実習に関する希望調書と面談、実習期間の取り組み（主にインターンシップ日誌から）、事後報告会での発表の3要素から評価を行う。	○	○			○	○	○		
<関連科目>	インターンシップⅣ	公的機関が直面している政策課題を現場での体験を通して発見し、その具体的な問題解決の方法を広く人々に伝えられるようになると共に、自己の職業適性を発見することをも目的とする。	実習に関する希望調書と面談、実習期間の取り組み（主にインターンシップ日誌から）、事後報告会での発表の3要素から評価を行う。	○	○			○	○	○		
<関連科目>	からだのメカニズム A	からだのしくみと病気を理解し、健康を維持・増進する意義を理解する。	学習態度、授業内の小テスト、および期末試験で総合的に評価する。									◎
<関連科目>	からだのメカニズム B	からだのしくみと病気を理解し、健康を維持・増進する意義を理解する。	学習態度、授業内の小テスト、および期末試験で総合的に評価する。									◎
<関連科目>	グローバル社会と女性	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	○			○					△
<関連科目>	ゲーム論入門	社会において複数の当事者（個人、企業、政府など）が、互いの行動に影響を与える状況（ゲーム）において、どのように行動するかを学びます。	授業中の問題演習、ゲーム理論が関係する時事的な問題に関するレポート、まとめの期末試験の3要素から評価を行う。	○		○	○	○				○
<関連科目>	スペイン語 A	・スペイン語の文法や語彙などに関する基礎的な知識を習得する ・スペイン語での簡単なコミュニケーションスキルを身につける ・スペイン語圏の文化の概観を理解する	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎							○
<関連科目>	スペイン語 B	・スペイン語の文法や語彙などに関する基礎的な知識を習得する ・スペイン語での簡単なコミュニケーションスキルを身につける ・スペイン語圏の文化の概観を理解する	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎							○

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
 DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
 DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
 DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
 DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
 DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
 DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
 DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー								
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	
<関連科目>	スポーツ・マネジメント論A	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	○						○	○	△
<関連科目>	スポーツ・マネジメント論B	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	○						○	○	△
<関連科目>	スポーツコーチングⅠA	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	○						○	○	△
<関連科目>	スポーツコーチングⅠB	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	○						○	○	△
<関連科目>	スポーツコーチング実践A	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	○						○	○	△
<関連科目>	スポーツコーチング実践B	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	○						○	○	△
<関連科目>	スポーツコーチング実践C	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	○						○	○	△
<関連科目>	スポーツ医学	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	○						○	○	△

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー									
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8		
<関連科目>	スポーツ栄養学	薬学部のカリキュラムマップを参照のこと	薬学部のカリキュラムマップを参照のこと	○			○						△
<関連科目>	スポーツ心理学	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	○					○		○		△
<関連科目>	チェコ語 A	・チェコ語の文法や語彙などに関する基礎的な知識を習得する ・チェコ語での簡単なコミュニケーションスキルを身につける ・チェコの文化の概観を理解する	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎								○
<関連科目>	チェコ語 B	・チェコ語の文法や語彙などに関する基礎的な知識を習得する ・チェコ語での簡単なコミュニケーションスキルを身につける ・チェコの文化の概観を理解する	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎								○
<関連科目>	データサイエンスと数理統計	データサイエンスセンターのカリキュラムマップを参照のこと	データサイエンスセンターのカリキュラムマップを参照のこと				◎		○				
<関連科目>	データサイエンス特別講義Ⅰ	データサイエンスセンターのカリキュラムマップを参照のこと	データサイエンスセンターのカリキュラムマップを参照のこと				◎		○				
<関連科目>	データサイエンス特別講義Ⅱ	データサイエンスセンターのカリキュラムマップを参照のこと	データサイエンスセンターのカリキュラムマップを参照のこと				◎		○				
<関連科目>	データサイエンス入門	データサイエンスセンターのカリキュラムマップを参照のこと	データサイエンスセンターのカリキュラムマップを参照のこと				◎		○				

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー								
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	
<関連科目>	ビジネスと資格 B	ビジネスパーソンに必要な基礎知識である 2 つの資格を網羅 (リテールマーケティング・個人情報保護士)。信託銀行員の経験を有する担当教員が必要に応じて具体例を紹介することで、知識の習得と実務の理解。	学期末試験・レポート、課題・アンケート提出・授業内の課題など								◎	
<関連科目>	フランス語 I A	・フランス語の文法や語彙などに関する基礎的な知識を習得する ・フランス語での簡単なコミュニケーションスキルを身につける ・フランス語圏の文化の概観を理解する	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎							○
<関連科目>	フランス語 I B	・フランス語の文法や語彙などに関する基礎的な知識を習得する ・フランス語での簡単なコミュニケーションスキルを身につける ・フランス語圏の文化の概観を理解する	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎							○
<関連科目>	フランス語 II A	・フランス語の文法や語彙などに関する発展的な知識を習得する ・フランス語での発展的なコミュニケーションスキルを身につける ・フランス語圏の文化の概観を説明できるようになる	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎							○
<関連科目>	フランス語 II B	・フランス語の文法や語彙などに関する発展的な知識を習得する ・フランス語での発展的なコミュニケーションスキルを身につける ・フランス語圏の文化の概観を説明できるようになる	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎							○
<関連科目>	ポーランド語 A	・ポーランド語の文法や語彙などに関する基礎的な知識を習得する ・ポーランド語での簡単なコミュニケーションスキルを身につける ・ポーランドの文化の概観を理解する	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎							○
<関連科目>	ポーランド語 B	・ポーランド語の文法や語彙などに関する基礎的な知識を習得する ・ポーランド語での簡単なコミュニケーションスキルを身につける ・ポーランドの文化の概観を理解する	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎							○
<関連科目>	ボランティア I	ボランティア活動を通じて社会の課題を発見し探求していく。	事前・中間・事後の研修・課題・アンケート提出・ボランティア活動先での実習								○	◎

◎: 最もよく身に付けることができる能力
○: よく身に付けることができる能力
△: 身に付けることができる能力

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー								
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	
<関連科目>	ボランティアⅡ	ボランティア活動を通じて社会の課題を発見し探求していく。	事前・中間・事後の研修・課題・アンケート提出・ボランティア活動先での実習								○	◎
<関連科目>	ボランティアⅢ	ボランティア活動を通じて社会の課題を発見し探求していく。	事前・中間・事後の研修・課題・アンケート提出・ボランティア活動先での実習								○	◎
<関連科目>	ボランティアⅣ	ボランティア活動を通じて社会の課題を発見し探求していく。	事前・中間・事後の研修・課題・アンケート提出・ボランティア活動先での実習								○	◎
<関連科目>	マレー語 A	・マレー語の文法や語彙などに関する基礎的な知識を習得する ・マレー語での簡単なコミュニケーションスキルを身につける ・マレー語圏の文化の概観を理解する	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎							○
<関連科目>	マレー語 B	・マレー語の文法や語彙などに関する基礎的な知識を習得する ・マレー語での簡単なコミュニケーションスキルを身につける ・マレー語圏の文化の概観を理解する	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎							○
<関連科目>	遺伝子 A	遺伝子とDNA、染色体、ゲノムの関係を理解し、その構造とはたらきについて説明できる。	学習態度、授業内の小テスト、および期末試験で総合的に評価する。									◎
<関連科目>	遺伝子 B	遺伝子情報がどのように応用されているかを中心に学び、ニュースなどに接したときの理解力を高めること。	学習態度、授業内の小テスト、および期末試験で総合的に評価する。									◎
<関連科目>	医療福祉特講	本講義では、医療福祉マネジメントの基本知識を得ることを目的とする。さらに、医療福祉経営に関するサービス・マネジメント、専門理論、組織論、政策論などを踏まえて、医療保険・介護保険政策の効果を客観的に評価し、効果的な経営とサービスを策定・提言できることを目標とする。	試験、レポート、授業参加	◎				○			○	

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー								
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	
<関連科目>	運動処方論	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	○						○	○	△
<関連科目>	運動生理学概論	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	○						○	○	△
<関連科目>	英語集中トレーニングA	・実践的な英語に関する総合力を養う。 ・世界で活躍するために必要な英語圏の社会・文化についての幅広い知識を習得する。	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎							○
<関連科目>	英語集中トレーニングB	・実践的な英語に関する総合力を養う。 ・世界で活躍するために必要な英語圏の社会・文化についての幅広い知識を習得する。	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎							○
<関連科目>	家族と法	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと					○	○			
<関連科目>	課題解決演習ⅠA	本講義では、社会に必要な人材としてキャリア意識を向上させながら自分らしく働くことへの基礎づくりができるよう、主体的に考え行動をする力を身につけることを目的とする。また、働くことに対する考え、キャリアのつくられ方、キャリア向上の仕方などを理解し、それらを自分のキャリア形成とどう結びつけていくかを考えることを到達目標とする。	課題、質疑応答、コメント提示、授業参加、プレゼンテーション、期末の試験あるいはレポート提出	◎			○	○	○	○	○	○
<関連科目>	課題解決演習ⅠB	本講義では、社会に必要な人材としてキャリア意識を向上させながら自分らしく働くことへの基礎づくりができるよう、主体的に考え行動をする力を身につけることを目的とする。また、課題解決のプロセスを理解し、解決案を作成して他者に対して明確に説明できることを到達目標とする。	課題、質疑応答、コメント提示、授業参加、プレゼンテーション、期末の試験あるいはレポート提出	◎			○	○	○	○	○	○
<関連科目>	課題解決演習ⅡA	本講義では、大学における課題をフィールドワークを通じて発見し、考察する。問題意識を洞察力を養うことを目的とし、フィールド調査の手法を体得することを目標とする。	課題、レポート・成果物	◎			○	○	○	○	○	○

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー							
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8
<関連科目>	課題解決演習Ⅱ B	本講義では、大学における課題をフィールドワークを通じて発見し、考察する。問題意識を洞察力を養うことを目的とし、フィールド調査の手法を用いて調査結果を分析することを目標とする。。	課題、レポート・成果物	◎			○	○	○	○	○
<関連科目>	課題解決演習Ⅲ A	本講義では、地域社会における課題をフィールドワークを通じて発見し、考察する。問題意識を洞察力を養うことを目的とし、フィールド調査の手法を体得することを目標とする。	課題、レポート・成果物	◎			○	○	○	○	○
<関連科目>	課題解決演習Ⅲ B	本講義では、地域社会における課題をフィールドワークを通じて発見し、考察する。問題意識を洞察力を養うことを目的とし、フィールド調査の手法を用いて調査結果を分析することを目標とする。。	課題、レポート・成果物	◎			○	○	○	○	○
<関連科目>	課題解決演習Ⅳ A	本講義では、地域社会における課題解決に向けた働きかけについて考察する。調査結果をもとに課題解決の提案をまとめることを目標とする。	課題、レポート・成果物	◎			○	○	○	○	○
<関連科目>	課題解決演習Ⅳ B	本講義では、地域社会における課題解決に向けた働きかけについて考察する。調査結果をもとにまとめた課題解決の提案を社会に発信することを目標とする。	課題、レポート・成果物	◎			○	○	○	○	○
<関連科目>	会計基礎 A	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	○				○			
<関連科目>	会計基礎 B	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	○				○			
<関連科目>	海外研修 1	海外研修を通じた異文化への理解、語学力の向上、および自身のアイデンティティの確立と再発見を目指す。	研修先の機関で受けた講義および演習等の評価に基づいて評価する。		◎				○	○	

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー								
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	
<関連科目>	海外研修Ⅱ	海外研修を通じた異文化への理解、語学力の向上、および自身のアイデンティティの確立と再発見を目指す。	研修先の機関で受けた講義および演習等の評価に基づいて評価する。		◎					○	○	
<関連科目>	海外研修Ⅲ	海外研修を通じた異文化への理解、語学力の向上、および自身のアイデンティティの確立と再発見を目指す。	研修先の機関で受けた講義および演習等の評価に基づいて評価する。		◎					○	○	
<関連科目>	海外研修Ⅳ	海外研修を通じた異文化への理解、語学力の向上、および自身のアイデンティティの確立と再発見を目指す。	研修先の機関で受けた講義および演習等の評価に基づいて評価する。		◎					○	○	
<関連科目>	外国史概説	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	○	○		○					
<関連科目>	韓国語ⅠA	ハングル文字の成り立ちをきちんとおさえ、韓国語の読み書きが正確にできるようになること。挨拶や自己紹介など簡単な韓国語の表現が駆使できるようになること	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎							○
<関連科目>	韓国語ⅠB	文法の基礎を固め、基本表現を身に付け、韓国語で簡単な会話ができること	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎							○
<関連科目>	韓国語ⅡA	すでに習得した韓国語Ⅰの学習内容を踏まえ、文法の知識をさらに深めながらボキャブラリーを増やし、韓国語の「読む」「書く」「話す」能力をバランスよく向上させ、運用能力を高めること	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎							○
<関連科目>	韓国語ⅡB	前期の授業内容を踏まえながら、より高度な表現力を身につけるために必要な様々な活用語尾を学習し練習を重ねることにより、作文・会話の運用能力の向上を図る	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎							○

◎: 最もよく身に付けることができる能力
 ○: よく身に付けることができる能力
 △: 身に付けることができる能力

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー									
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8		
<関連科目>	企業と法	企業に関する法的基礎知識を学び、時事力・問題発見力・解決力の修得を目的とします。そのことにより、企業関連の新聞記事・ニュース報道を理解でき、基礎的な問題点と解決方法を他者に説明できる能力を身につけます。	授業内の小テスト（Webテスト）および期末試験（筆記試験）			○		◎					
<関連科目>	基礎経済学 A	基礎的な経済学に関する体系的な知識および経済リテラシーの修得	論述試験・レポート・授業内の課題など	◎				○					△
<関連科目>	基礎経済学 B	基礎的な経済学に関する体系的な知識および経済リテラシーの修得	論述試験・レポート・授業内の課題など	◎				○					△
<関連科目>	基礎社会学 A	身近なトピック（わたし、他者、コミュニケーションなど）を読み解くことで、社会学の基本的な知識・概念・分析方法を学びます。	授業内課題・レポート・期末試験などを総合的に判断	◎				○					○
<関連科目>	基礎社会学 B	3つのトピック（労働、差別、戦争）を掘り下げながら、社会学の知識・概念・分析方法をさらに深く学びます。	授業内課題・レポート・期末試験などを総合的に判断	◎				○					○
<関連科目>	基礎心理学 A	心理学を学習すると同時にグループディスカッション、グループワークを通して、自己理解、他者理解を深めることを目的とする。	①毎回のコメントペーパー、②提出課題、③期末試験、④受講態度、参加度を用いて総合的に評価する。	◎								○	
<関連科目>	基礎心理学 B	心理学を学習すると同時にグループディスカッション、グループワークを通して、自己理解、他者理解を深めることを目的とする。	①毎回のコメントペーパー、②提出課題、③期末試験、④受講態度、参加度を用いて総合的に評価する。	◎								○	
<関連科目>	機械学習と AI	データサイエンスセンターのカリキュラムマップを参照のこと	データサイエンスセンターのカリキュラムマップを参照のこと			◎		○					

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
 DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
 DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
 DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
 DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
 DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
 DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
 DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー								
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	
<関連科目>	機能的解剖学概論	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	○						○	○	△
<関連科目>	救急処置	薬学部のカリキュラムマップを参照のこと	薬学部のカリキュラムマップを参照のこと	○			○					△
<関連科目>	教養英語 A	英文の基本的な読解ができると同時に、日本語の表現方法が深められる	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎							○
<関連科目>	教養英語 B	英文の基本的な読解ができると同時に、日本語の表現方法が深められる	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎							○
<関連科目>	経済史入門	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	○				○				
<関連科目>	健康スポーツⅠ A	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	○						○	○	△
<関連科目>	健康スポーツⅠ B	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	○						○	○	△
<関連科目>	健康スポーツⅡ A	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	○						○	○	△

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
 DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
 DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
 DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
 DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
 DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
 DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
 DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー									
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8		
<関連科目>	現代日本の税制	日本の現行税制に関する知識を通し、租税制度に対して的確な意見を持つと共に、自ら思考し行動する力を涵養する。	期末試験および平常点（授業への取り組み等）により評価する。	◎				○	○			○	○
<関連科目>	個人情報保護法	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	○				○					
<関連科目>	国際化ターンシップ I	国外の様々なプログラムへ参加することを通じて、自己のキャリア形成の一助とする。職業意識の確立、自己の職業適性の把握を目的とする。	各研修先におけるプログラムへの参加および課題提出の評価による。		○					○		○	
<関連科目>	国際化ターンシップ II	国外の様々なプログラムへ参加することを通じて、自己のキャリア形成の一助とする。職業意識の確立、自己の職業適性の把握を目的とする。	各研修先におけるプログラムへの参加および課題提出の評価による。		○					○		○	
<関連科目>	国際化ターンシップ III	国外の様々なプログラムへ参加することを通じて、自己のキャリア形成の一助とする。職業意識の確立、自己の職業適性の把握を目的とする。	各研修先におけるプログラムへの参加および課題提出の評価による。		○					○		○	
<関連科目>	国際化ターンシップ IV	国外の様々なプログラムへ参加することを通じて、自己のキャリア形成の一助とする。職業意識の確立、自己の職業適性の把握を目的とする。	各研修先におけるプログラムへの参加および課題提出の評価による。		○					○		○	
<関連科目>	国際グローバル研修	海外機関へのプログラム参加により、ビジネスや政策分野における課題発見と解決能力の向上を図る。	各研修先におけるプログラムへの参加および課題提出の評価による。		○				○	○			
<関連科目>	国際経済論 A	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	○					○				

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー								
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	
<関連科目>	自校史研究	本講義では、本学の精神と理念を再考し、自分が何を学ぼうとしているのか、大学は学生にとってどうありたいと念じているのかを知ることを目的とする。また、さまざまな現状を取上げて建学の精神と理念に基づいて問題の核心を発見し、その解決策を追求することを目標とする。	期末試験、小テスト	○	◎		○				○	○
<関連科目>	社会思想 A	社会について深く考察していくための社会思想に関する基本的な知識と考え方を学ぶ。過去の事象を主な対象とする。	コメントシート等による講義内の取り組み (60%)、レポート (40%)	○	○		◎				○	
<関連科目>	社会思想 B	社会について深く考察していくための社会思想に関する基本的な知識と考え方を学ぶ。現代の事象を主な対象とする。	コメントシート等による講義内の取り組み (60%)、レポート (40%)	○	○		◎				○	
<関連科目>	女性とキャリアデザイン(企業)	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	○			○					△
<関連科目>	女性とダイバーシティ(働き方)	語学教育センターのカリキュラムマップを参照のこと	語学教育センターのカリキュラムマップを参照のこと	○			○					△
<関連科目>	女性学 A	本講義の目的は、社会の多様性に配慮して主体的かつ協働的に実社会に貢献できる能力を身につけ、社会人として適切にふるまうことができる思考力、判断力、表現力や道徳的能力を身につけることにある。また、知識や技能により地域社会や国際社会で活躍できる能力を身につけるようになることを目標とする。	授業態度、リアクションペーパー、期末レポート	○	◎		○				○	
<関連科目>	女性学 B	本講義の目的は、ジェンダーという視点から日本社会を捉えなおすことである。講義で得た知識や技能により、地域社会や国際社会で活躍できる能力を身につけるようになることを目標とする。	授業態度、リアクションペーパー、期末レポート	○	◎		○				○	
<関連科目>	情報学概論 A	本講義は、デジタル社会の基礎となるコンピュータに関する入門的知識について学ぶ。特に、コンピュータを利用して構築する情報システムの知識、手法、および考え方について学ぶ。	講義中の確認テストや課題レポートなどによる形成的評価および期末試験による評価を合わせて行う	○		◎		○				

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー									
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8		
<関連科目>	世界の中の日本 A	初年次教育科目として「日本に関する基礎知識を確認し、個別の情報を関連付けてテーマ化する経験を得ること」を目的とします。「考える力」を養い（全学共通）、「職業人として活躍できる幅広い教養」（短期大学）として自分の言葉で日本に関して世界的な文脈の中で他者に説明できるトピックを見つけることを目標とします。	薬学部のカリキュラムマップを参照のこと	◎	○		○						
<関連科目>	世界の中の日本 B	国際文化についての基礎的な教養を学ぶこと、自国への知識を再検討し、新たな視点を持つことで他文化への理解を深めること、さらに歴史的思考を養うこと	授業内課題、期末試験	◎	○		○						
<関連科目>	生命倫理 A	本講義では、生命倫理の諸問題についての基本的知識を修得した上で、直感や感情論ではなく、合理的に物事の是非を検討する力を養い、自らが社会の一員として高い倫理観を持って判断・行動することの重要性を理解することを目標とする。さらに、倫理的判断について理解し、決断に際しては広い視野で他の存在に配慮できるようになることを目標とする。	レポート試験、課題	○			○				◎	○	
<関連科目>	生命倫理 B	本講義では、生命倫理の諸問題についての基本的知識を修得した上で、直感や感情論ではなく、合理的に物事の是非を検討する力を養い、自らが社会の一員として高い倫理観を持って判断・行動することの重要性を理解することを目標とする。さらに、現代医療の様々な倫理的問題について理解し、決断に際しては広い視野で他の存在に配慮できるようになることを目標とする。	レポート試験、課題	○			○				◎	○	
<関連科目>	西洋哲学概説	西洋の基本的なものの考え方を学び、今日のグローバル社会における課題発見・解決のために必要となる教養を身につけます。また、哲学的なものの見方、考え方を学ぶことで、既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力を養い、様々な現実の諸問題について、新たな視点から問題解決の方法を提言できる力を養うことを目指します。	コメントシート等による講義内の取り組み（50%）、論述テスト（50%）	○	○		◎					○	
<関連科目>	体力トレーニング論	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	○							○	○	△
<関連科目>	体力測定評価実習	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	経営学部のカリキュラムマップを参照のこと	○							○	○	△
<関連科目>	地域と大学	さまざまな文化施設を実際に見学することを通して、地域にとっての文化施設の意味を学び、地域や博物館について関心を深めながら、課題を発見する力を身につけること	授業内課題、見学会報告書、グループワークでの活動評価	○	○		○	◎	○				

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー									
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8		
<関連科目>	中国語集中トレーニングⅡ A	初級～中級レベルの中国語の習得を目的とします	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎								○
<関連科目>	中国語集中トレーニングⅡ B	初級～中級レベルの中国語の習得を目的とします	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎								○
<関連科目>	哲学入門 A	本講義では、受講生の哲学的思考を養うことを目指す。哲学では多くの概念や考え方、立場が登場するが、本講義ではこれらの学問的立場を知ることよりも、物事を哲学的に考える思考力を高めることを重視する。	コメントシート等による講義内の取り組み (60%)、レポート (40%)	○	○		◎					○	
<関連科目>	哲学入門 B	本講義では、受講生の哲学的思考を養うことを目指す。哲学では多くの概念や考え方、立場が登場するが、本講義ではこれらの学問的立場を知ることよりも、物事を哲学的に考える思考力を高めることを重視する。	コメントシート等による講義内の取り組み (60%)、レポート (40%)	○	○		◎					○	
<関連科目>	東洋哲学概説	高度に抽象的な事柄から身の回りの具体的な事象に至るまで、その問題の背景にある問いを発見し、論理的に考察する力を身につける。	コメントシート等による講義内の取り組み (30%)、学期末レポート (70%)	○	○		○						○
<関連科目>	統計学入門 A	本科目は統計学の基礎概念と方法を習得しながら、統計学の物の見方から身近な生活や社会などの問題を定量的に分析する技能を身に付けることを目的としている。統計学入門Aでは、主に統計学に関する基本概念と考え方について習得し、統計学の基本知識と技能を身に付けることを目指している。	中間と期末テスト、課題とレポート、授業への参加、取り組み(「プレゼンテーション」、「ディスカッションや発言などの積極性」、「グループワークにおける貢献度」)などにより形成的な評価を行う。	○			◎	○	○				○
<関連科目>	統計学入門 B	本科目は統計学の基礎概念と方法を習得しながら、統計学の物の見方から身近な生活や社会などの問題を定量的に分析する技能を身に付けることを目的としている。統計学入門Bでは、主にExcelで統計学の基本知識と技能を身に付けることを目指している。	中間と期末テスト、課題とレポート、授業への参加、取り組み(「プレゼンテーション」、「ディスカッションや発言などの積極性」、「グループワークにおける貢献度」)などにより形成的な評価を行う。	○			◎	○	○				○
<関連科目>	日常生活と法	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと					○	○				

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー									
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8		
<関連科目>	文化研究 II	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと		○								○
<関連科目>	法律学の学び方 A	社会規範としての「法」の意義や「法」の効力の根拠、多様な観点からの「法」の分類などを理解したうえで、法情報リテラシーの向上を図るべく、法の特質について修得します。	期末試験、授業内の小テスト、学習態度などで総合的に評価します。	○			○						○
<関連科目>	法律学の学び方 B	「六法」の基本的構成や利用方法、法的三段論法の構図、法令用語の諸相などを理解したうえで、法運用上の特性について修得します。	期末試験、授業内の小テスト、学習態度などで総合的に評価します。	○			○						○
<関連科目>	薬(薬学入門)	薬学部のカリキュラムマップを参照のこと	薬学部のカリキュラムマップを参照のこと	○			○						
<関連科目>	留学英語 A	留学生活に必要な英語での基礎的なコミュニケーション能力を身につける。 英語サイトを活用して有用な情報を集める力を身につける。 留学準備を通して、考える力・判断する力を身につける。	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎								○
<関連科目>	留学英語 B	留学生活に必要な英語での基礎的なコミュニケーション能力を身につける。 英語サイトを活用して有用かつ最新の情報を集める力を身につける。 留学準備を通して、考える力・判断する力を身につける。	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎								○
<関連科目>	倫理学概説 A	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	○	○		◎						○
<関連科目>	倫理学概説 B	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	経済学部のカリキュラムマップを参照のこと	○	○		◎						○

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー								
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	
<関連科目>	倫理学入門 A	本講義の目的は、倫理学に関する基礎的知識を自ら説明し、現代社会における諸問題を倫理的観点から分析、意見を発することができるようになることである。また、社会的問題の根底に存在する価値観や前提を言語化し、問いを深める思考力や問題発見能力を修得することを目標とする。	コメントシート、レポート		○		○				◎	○
<関連科目>	倫理学入門 B	本講義の目的は、倫理学に関する基礎的知識を自ら説明し、現代社会における諸問題を倫理的観点から分析、意見を発することができるようになることである。また、社会的問題の根底に存在する価値観や前提を言語化し、問いを深める思考力や問題発見能力を修得することを目標とする。	コメントシート、レポート		○		○				◎	○
<関連科目>	論理的思考法Ⅰ A	論理を、その社会的コンテキストを含めて理解し、論理的思考力の向上を目的とする。	毎回提出の小課題、および最終レポート課題	◎			○					
<関連科目>	論理的思考法Ⅰ B	論理を、その社会的コンテキストを含めて理解し、論理的思考力の向上を目的とする。	毎回提出の小課題、および最終レポート課題	◎			○					
<関連科目>	論理的思考法Ⅱ A	論理を、その社会的コンテキストを含めて理解し、論理的思考力の向上を目的とする。	毎回提出の小課題、および最終レポート課題	◎			○					
<関連科目>	論理的思考法Ⅱ B	論理を、その社会的コンテキストを含めて理解し、論理的思考力の向上を目的とする。	毎回提出の小課題、および最終レポート課題	◎			○					
<関連科目> 留学生対象科目	現代日本の経済事情(S)	留学生を対象としている本講義を通して、現代日本の社会と経済の基本的な仕組み、日本社会における諸問題に関する基本知識を得ること、日本語能力の向上を目的とする。	出席状況、授業での議論への貢献、中間テストや提出課題の成績(50%)；期末試験(50%)による形成的・総合的評価。	○	◎		○	○	○			○
<関連科目> 留学生対象科目	現代日本の法と政治(S)	講義を通じて、受講生(留学生)が第二次世界大戦の復興から高度経済成長期までの日本史を学び、現代日本社会の仕組みを把握するのに役立つ知識を手に入れることを目的としています。	授業への出席及び発言とペーパー課題によって評価します。	○	◎	△	○		△	△		○

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー									
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8		
<関連科目> 留学生対象科目	日本語特殊演習Ⅳ A	大学院進学を目指しているN1レベルの日本語学習者が、より深く日本語を理解するために身につけるべき知識の習得を目的とします。また、論文等を読んだり、より日本語らしい文章を書いたりするための日本語運用能力の習得をも目的とします	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎								○
<関連科目> 留学生対象科目	日本語特殊演習Ⅳ B	大学院進学を目指しているN1レベルの日本語学習者が、より深く日本語を理解するために身につけるべき知識の習得を目的とします	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎								○
<関連科目> 留学生対象科目	日本語特殊演習Ⅴ A	大学院進学を目指しているN1レベルの日本語学習者が、より深く日本語を理解するために身につけるべき知識の習得を目的とします	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎								○
<関連科目> 留学生対象科目	日本語特殊演習Ⅴ B	大学院進学を目指しているN1レベルの日本語学習者が、より深く日本語を理解するために身につけるべき知識の習得を目的とします	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎								○
<関連科目> 留学生対象科目	日本語特殊演習Ⅵ A	大学院進学を目指しているN1レベルの日本語学習者が、より深く日本語を理解するために身につけるべき知識の習得を目的とします	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎								○
<関連科目> 留学生対象科目	日本語特殊演習Ⅵ B	大学院進学を目指しているN1レベルの日本語学習者が、より深く日本語を理解するために身につけるべき知識の習得を目的とします	試験、課題、授業貢献度で総合的に評価する		◎								○
<自由科目> 自由B	ジェンダー・教育・ダイバーシテ	-	-										
<自由科目> 自由B	スチューデントインタ	-	-										

◎: 最もよく身に付けることができる能力
○: よく身に付けることができる能力
△: 身に付けることができる能力

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー									
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8		
<自由科目> 自由B	スチューデントインタ II	-	-										
<自由科目> 自由B	介護等体験実習	-	-										
<自由科目> 自由B	学校と図書館	-	-										
<自由科目> 自由B	教育課程論（総合的な学習の	-	-										
<自由科目> 自由B	教育学概論A	-	-										
<自由科目> 自由B	教育学概論B	-	-										
<自由科目> 自由B	教育史	-	-										
<自由科目> 自由B	教育実習 I	-	-										

◎: 最もよく身に付けることができる能力
 ○: よく身に付けることができる能力
 △: 身に付けることができる能力

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー								
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	
<自由科目> 自由B	教育実習 II	-	-									
<自由科目> 自由B	教育心理学	-	-									
<自由科目> 自由B	教育相談	-	-									
<自由科目> 自由B	教育方法及びICT指導法	-	-									
<自由科目> 自由B	教職実践演習(中・高)	-	-									
<自由科目> 自由B	教職論	-	-									
<自由科目> 自由B	公民科教育法 A	-	-									
<自由科目> 自由B	公民科教育法 B	-	-									

◎: 最もよく身に付けることができる能力
 ○: よく身に付けることができる能力
 △: 身に付けることができる能力

2022年度 カリキュラム・マップ【現代政策学部社会経済システム学科】

ディプロマ・ポリシー

- DP1: 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- DP2: 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- DP3: 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術(ICT)を効果的に活用する力。
- DP4: 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- DP5: 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- DP6: 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- DP7: 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- DP8: 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

分野系列	科目名	科目の目的・目標	アセスメント方法	科目に関連づくディプロマ・ポリシー								
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	
<自由科目> 自由B	社会科教育法A	-	-									
<自由科目> 自由B	社会科教育法B	-	-									
<自由科目> 自由B	生徒指導	-	-									
<自由科目> 自由B	道徳教育の理論と指導法	-	-									
<自由科目> 自由B	特別活動論	-	-									
<自由科目> 自由B	特別支援教育	-	-									

◎: 最もよく身に付けることができる能力
 ○: よく身に付けることができる能力
 △: 身に付けることができる能力